

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ハドソン

コード番号 4822 URL <http://www.hudson.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長

(氏名) 石塚 通弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 石垣 誠一

TEL 03-6439-4622

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	11,049	△10.2	902	△28.1	833	△32.6	476	△25.4
22年3月期第3四半期	12,310	△13.6	1,254	△56.4	1,237	△56.0	637	△58.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	16.52	—
22年3月期第3四半期	22.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	11,889	9,733	81.9	337.79
22年3月期	11,441	9,406	82.2	326.42

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 9,733百万円 22年3月期 9,406百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	0.00	10.00
23年3月期	—	4.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	6.0	1,200	17.3	1,200	18.1	700	9.2	24.29

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、  
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 28,821,000株 22年3月期 28,821,000株  
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 5,906株 22年3月期 5,056株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 28,815,509株 22年3月期3Q 28,816,784株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間(3ヶ月)におけるわが国経済は、円高等の不安要因が残るものの、中国をはじめとする新興国市場の経済成長の影響により、一部企業においては景況感に好転の兆しが見えつつあります。

当社の属するエンタテインメント産業では、現行の携帯型・据置型ゲーム機のライフサイクルが一巡しつつある一方で、新規ゲーム機の市場への投入とそれに伴うゲームソフトの販売拡大が期待されています。またスマートフォン(高性能携帯端末)の急速な普及や、SNSサイトの急成長は、新たなゲームユーザー層の獲得につながり、ビジネスチャンスの拡大をもたらすものと期待されています。

当社グループ(当社及び当社子会社)におきましては、欧米で大きな話題となっているXbox360用「Kinect」(キネクト)向けタイトルを日・米・欧市場へ投入すると共に、急成長するスマートフォンやSNSサイト向けのゲームおよびソーシャルゲームの強化に努めてまいりました。

上記の取組みの結果、第3四半期連結会計期間(3ヶ月)の売上高は、44億60百万円(前年同期間比6.4%減)、営業利益は5億24百万円(同4.3%増)、経常利益は5億0百万円(同4.2%減)、四半期純利益は2億27百万円(同1.9%増)となり、売上高は前年実績を下回ったものの営業利益は前年実績を上回りました。

また第3四半期連結累計期間(9ヶ月)の売上高は110億49百万円(前年同期間比10.2%減)、営業利益は9億2百万円(同28.1%減)、経常利益は8億33百万円(同32.6%減)、四半期純利益は4億76百万円(同25.4%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

	売上高			営業利益		
	前第3四半期連結会計期間(百万円)	当第3四半期連結会計期間(百万円)	増減率(%)	前第3四半期連結会計期間(百万円)	当第3四半期連結会計期間(百万円)	増減率(%)
ネットワーク・コンテンツ関連	1,974	1,576	△20.1	226	325	43.4
コンシューマ・コンテンツ関連	2,674	2,872	7.4	505	450	△10.9
その他	113	10	△90.3	37	1	△95.7
全社費用	—	—	—	△266	△252	—
合計	4,763	4,460	△6.4	503	524	4.3

第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

	売上高			営業利益		
	前第3四半期連結累計期間(百万円)	当第3四半期連結累計期間(百万円)	増減率(%)	前第3四半期連結累計期間(百万円)	当第3四半期連結累計期間(百万円)	増減率(%)
ネットワーク・コンテンツ関連	5,497	4,603	△16.3	976	965	△1.1
コンシューマ・コンテンツ関連	6,661	6,408	△3.8	1,027	701	△31.8
その他	152	37	△75.6	58	9	△84.3
全社費用	—	—	—	△807	△773	—
合計	12,310	11,049	△10.2	1,254	902	△28.1

①ネットワーク・コンテンツ関連

モバイルゲーム事業においては、自社サイトの課金数がSNS向け無料ゲームサイトの人気の影響を受けて引続き減少傾向にあるものの、昨年11月の東北新幹線新青森駅延長にタイミングを合わせて、「桃太郎電鉄AOMORI」(iモード向け)の配信を開始するなど、話題性のあるコンテンツを投入し、好評を博しました。またSNSサイト向けゲームでは、グリー㈱が運営する「GREE」サイト向けに「桃太郎電鉄Lite」他2タイトルの配信を開始しました。引き続き魅力的なタイトルを順次投入し、ユーザーの獲得を強化してまいります。スマートフォン向けゲームについては、「iPhone」「iPod touch」向けの「ボンバーマンTOUCH-The Legend of Mystic Bomb」などの既存タイトルの課金数が堅調に推移しております。新規タイトルとしては「PC Engine GameBox」「めざせ!!釣りマスター for iPhone」を昨年12月より配信開始し、好評を頂いております。また昨年11月には、スマートフォン向けコンテンツ情報サイト「DTH」(Do the Hudson!)をリニューアルし、スマートフォン向け当社タイトルのユーザー向け情報提供の充実に努めております。

音楽事業においては、着信メロディサイト「取り放題¥100+歌詞」、着うたサイト「着信★うた♪」の課金数が減少傾向であるものの、着うたフルサイト「着信★うた♪フル」は堅調に推移しました。昨年11月からは新たな音楽配信サイトとして、「着信★アニメ・ゲーム♪」「着信★アニメ・ゲーム♪フル」を開始し、当社の強みであるアニメ・ゲームジャンルでの音楽配信を強化しました。カラオケ事業では、昨年12月にシリーズ最新作の、「カラオケJOYSOUND Wii SUPER DX ひとりでみんなで歌い放題」を発売し、堅調に推移しております。

上記取り組みの結果、当事業部門の第3四半期連結会計期間(3ヶ月)売上高は、15億76百万円(前年同期比20.1%減)、営業利益は3億25百万円(同43.4%増)となりました。

また、当事業部門の第3四半期連結累計期間(9ヶ月)の売上高は46億3百万円(同16.3%減)、営業利益は9億65百万円(同1.1%減)となりました。

## ②コンシューマ・コンテンツ関連

自社ブランドによる家庭用ゲーム機向けコンテンツの制作・販売事業においては、人気シリーズの新作を中心に11タイトルを発売しました。「桃太郎電鉄」シリーズでは「桃太郎電鉄WORLD」(ニンテンドーDS向け)を12月に国内向けに発売し、順調に推移しております。また、「メタルファイト ベイブレード」シリーズでは、国内向けに「メタルファイト ベイブレード 頂上決戦!ビッグバン・ブレイダーズ」(ニンテンドーDS向け)を発売し、北米・欧州向けには、「BEYBLADE: Metal Fusion」(Wii向け)を発売し、海外市場を中心に順調に推移しております。また北米・欧州で大きな話題となっているXbox360用「Kinect」(キネクト)向けには、「DECA SPORTA(デカスポルタ)」シリーズとして、北米市場向けに「DECA SPORTS FREEDOM」、欧州向けに「SPORTS ISLAND FREEDOM」を発売しました。両地域とも計画を上回る好調な売れ行きを示しており更なる拡大が期待されます。既存タイトルでは、「DECA SPORTS」(Wii向け)がシリーズ第1弾、2弾ともに北米を中心に引き続き堅調に推移しました。

ダウンロードゲームにおいては、「ブルーオアシス~魚の癒し空間~」(PSN向け)、「Bomberman Live」(Xbox Live アーケード向け)が継続してユーザーの支持をいただきました。また、昨年12月には「Bomberman Live: Battlefest」(Xbox Live アーケード向け)の配信を開始し、新たなユーザーの獲得を進めております。

上記取り組みの結果、当事業部門の第3四半期連結会計期間(3ヶ月)の売上高は、28億72百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は4億50百万円(同10.9%減)となりました。

また、当事業部門の第3四半期連結累計期間(9ヶ月)の売上高は64億8百万円(同3.8%減)、営業利益は7億1百万円(同31.8%減)となりました。

## ③その他

その他は、デバッグ受託業務などによるものです。

当事業の第3四半期連結会計期間(3ヶ月)の売上高は、10百万円(前年同期比90.3%減)、営業利益は1百万円(同95.7%減)となりました。

また、当事業部門の第3四半期連結累計期間(9ヶ月)の売上高は、37百万円(同75.6%減)、営業利益は9百万円(同84.3%減)となりました。

※平成23年3月期第1四半期及び平成23年3月期第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)(平成22年7月29日開示)及び平成23年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)(平成22年10月28日開示)を参照願います。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億47百万円増加の118億89百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億20百万円増加の21億55百万円となりました。主な要因は、買掛金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億27百万円増加の97億33百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期決算発表時において公表した連結業績予想から変更はありません。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、為替変動等の潜在的なリスクや不確実性が含まれております。この影響のため、実際の業績が記載の見通しとは異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の金額を期間按分して算出する方法によっております。

②法人税等及び繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降の経営環境等や一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益がそれぞれ4,643千円減少し、税金等調整前四半期純利益は10,830千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は47,024千円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,514,051	4,167,502
売掛金	2,699,565	2,541,033
商品及び製品	146,121	156,282
原材料及び貯蔵品	206,020	273,358
コンテンツ	276,225	112,982
仕掛品	1,509,008	1,581,052
その他	1,584,204	1,591,468
貸倒引当金	△8,617	△10,310
流動資産合計	10,926,580	10,413,370
固定資産		
有形固定資産	241,980	282,506
無形固定資産	41,606	53,777
投資その他の資産		
その他	687,072	715,826
貸倒引当金	△7,929	△24,165
投資その他の資産合計	679,143	691,661
固定資産合計	962,730	1,027,945
資産合計	11,889,310	11,441,316
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	188,453	88,347
未払法人税等	331,504	342,657
賞与引当金	15,000	—
事業構造改善引当金	3,204	41,375
その他	967,524	981,460
流動負債合計	1,505,686	1,453,842
固定負債		
退職給付引当金	603,099	581,423
資産除去債務	47,024	—
固定負債合計	650,124	581,423
負債合計	2,155,810	2,035,265
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,064,276	5,064,276
資本剰余金	3,656,643	3,656,643
利益剰余金	1,123,296	762,516
自己株式	△3,366	△3,088
株主資本合計	9,840,848	9,480,347
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△107,348	△74,296
評価・換算差額等合計	△107,348	△74,296
純資産合計	9,733,499	9,406,050
負債純資産合計	11,889,310	11,441,316

(2) 四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	12,310,551	11,049,775
売上原価	7,574,320	7,236,903
売上総利益	4,736,230	3,812,872
販売費及び一般管理費	3,482,031	2,910,744
営業利益	1,254,198	902,128
営業外収益		
受取利息	179	126
保険配当金	—	2,236
賃貸料収入	13,099	7,693
その他	4,271	2,024
営業外収益合計	17,550	12,080
営業外費用		
為替差損	33,713	79,534
その他	681	731
営業外費用合計	34,394	80,265
経常利益	1,237,354	833,943
特別利益		
貸倒引当金戻入額	312	415
特別利益合計	312	415
特別損失		
固定資産売却損	—	235
固定資産除却損	3,494	954
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,187
特別損失合計	3,494	7,377
税金等調整前四半期純利益	1,234,173	826,981
法人税、住民税及び事業税	420,935	454,756
法人税等調整額	175,268	△103,817
法人税等合計	596,203	350,939
少数株主損益調整前四半期純利益	—	476,041
四半期純利益	637,969	476,041

第3四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	4,763,052	4,460,431
売上原価	2,953,332	2,930,296
売上総利益	1,809,720	1,530,134
販売費及び一般管理費	1,306,634	1,005,602
営業利益	503,086	524,531
営業外収益		
受取利息	29	29
賃貸料収入	3,324	2,111
その他	161	203
営業外収益合計	3,515	2,344
営業外費用		
為替差損	△16,132	25,700
その他	130	631
営業外費用合計	△16,001	26,331
経常利益	522,603	500,544
特別利益		
貸倒引当金戻入額	△1,948	△507
特別利益合計	△1,948	△507
特別損失		
固定資産除却損	3,174	505
特別損失合計	3,174	505
税金等調整前四半期純利益	517,479	499,531
法人税、住民税及び事業税	282,280	304,626
法人税等調整額	11,586	△32,952
法人税等合計	293,866	271,673
少数株主損益調整前四半期純利益	—	227,857
四半期純利益	223,612	227,857

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	ネットワー ク・コンテン ツ関連事業 (千円)	コンシュー マ・コンテン ツ関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,974,676	2,674,537	113,838	4,763,052	—	4,763,052
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,974,676	2,674,537	113,838	4,763,052	—	4,763,052
営業利益	226,686	505,426	37,829	769,942	(266,856)	503,086

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

- |                        |  |
|------------------------|--|
| (1) ネットワーク・コンテンツ関連事業…… | ①携帯電話等のモバイル端末向けエンタテインメント・コンテンツの制作・販売・受託等<br>②インターネット上でのオンラインゲーム等のエンタテインメント・コンテンツの制作・販売・受託等<br>③音楽映像コンテンツの制作・配信・受託及び周辺機器の制作・販売、自社音楽レーベル向けの楽曲の制作・提供等 |
| (2) コンシューマ・コンテンツ関連事業…… | ①自社ブランドによる家庭用ゲームソフト及び周辺機器の制作・販売、玩具等の制作・販売、著作権許諾等<br>②他社ブランドの家庭用ゲームソフトの制作受託等<br>③最新テクノロジーの研究・技術開発（R&D）事業、家庭用ゲーム機向け開発支援システム・ツール、半導体等の開発・販売等          |
| (3) その他事業……            | 上記事業に属さない製・商品の開発・販売、著作権許諾等   |

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	ネットワーク・コンテンツ関連事業 (千円)	コンシューマ・コンテンツ関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,497,202	6,661,207	152,141	12,310,551	—	12,310,551
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,497,202	6,661,207	152,141	12,310,551	—	12,310,551
営業利益	976,131	1,027,758	58,295	2,062,185	(807,986)	1,254,198

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1) ネットワーク・コンテンツ関連事業…… ①携帯電話等のモバイル端末向けエンタテインメント・コンテンツの制作・販売・受託等  
②インターネット上でのオンラインゲーム等のエンタテインメント・コンテンツの制作・販売・受託等  
③音楽映像コンテンツの制作・配信・受託及び周辺機器の制作・販売、自社音楽レーベル向けの楽曲の制作・提供等
- (2) コンシューマ・コンテンツ関連事業…… ①自社ブランドによる家庭用ゲームソフト及び周辺機器の制作・販売、玩具等の制作・販売、著作権許諾等  
②他社ブランドの家庭用ゲームソフトの制作受託等  
③最新テクノロジーの研究・技術開発(R&D)事業、家庭用ゲーム機向け開発支援システム・ツール、半導体等の開発・販売等
- (3) その他事業…… 上記事業に属さない製・商品の開発・販売、著作権許諾等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,378,323	384,729	4,763,052	—	4,763,052
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	49,488	159,722	209,211	(209,211)	—
計	4,427,812	544,451	4,972,264	(209,211)	4,763,052
営業利益	756,374	6,204	762,578	(259,492)	503,086

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

北米・・・アメリカ合衆国

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	11,097,346	1,213,204	12,310,551	—	12,310,551
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	186,269	210,876	397,146	(397,146)	—
計	11,283,615	1,424,081	12,707,697	(397,146)	12,310,551
営業利益	1,969,766	86,210	2,055,977	(801,778)	1,254,198

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。  
 2 本邦以外の区分に属する国又は地域は次のとおりであります。  
 北米・・・アメリカ合衆国

### 【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	478,379	135,450	1,722	35	615,588
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	4,763,052
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.0	2.8	0.0	0.0	12.9

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。  
 (1) 北米……アメリカ合衆国、カナダ  
 (2) 欧州……ドイツ連邦共和国、オランダ王国、ギリシャ共和国、グレートブリテン及び北アイルランド  
 連合王国（イギリス）、イタリア共和国  
 (3) アジア…台湾、大韓民国、中華人民共和国  
 (4) その他…イスラエル国、オーストラリア連邦  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,572,820	818,132	11,625	559	2,403,138
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	12,310,551
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.8	6.6	0.1	0.0	19.5

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。  
 (1) 北米……アメリカ合衆国、カナダ  
 (2) 欧州……ドイツ連邦共和国、オランダ王国、ギリシャ共和国、グレートブリテン及び北アイルランド  
 連合王国（イギリス）、イタリア共和国  
 (3) アジア…台湾、大韓民国、中華人民共和国  
 (4) その他…イスラエル国、オーストラリア連邦  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は東京本社、北海道本社に製品・サービス別の各事業本部を置き、事業活動を展開しており、「ネットワーク・コンテンツ関連」、「コンシューマ・コンテンツ関連」の2つを報告セグメントとしております。

「ネットワーク・コンテンツ関連」は携帯電話等のモバイル端末やインターネット上でのオンラインゲーム等のエンタテインメント・コンテンツの制作・販売・受託等を行っており、また音楽映像コンテンツの制作・配信・受託及び周辺機器の制作・販売、自社音楽レーベル向けの楽曲の制作・提供等もおこなっております。

「コンシューマ・コンテンツ関連」は自社ブランドによる家庭用ゲームソフト及び周辺機器の制作・販売、玩具等の開発・販売、著作権許諾等や他社ブランドの家庭用ゲームソフトの制作受託等を行っており、また最新テクノロジーの研究・技術開発(R&D)事業、家庭用ゲーム機向け開発支援システム・ツールの開発・販売等も行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ネットワーク・ コンテンツ関連 事業	コンシューマ・ コンテンツ関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,603,796	6,408,827	11,012,623	37,151	11,049,775
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,603,796	6,408,827	11,012,623	37,151	11,049,775
セグメント利益	965,483	701,429	1,666,913	9,165	1,676,079

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製・商品の開発・販売、著作権許諾等を含んでおります。

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ネットワーク・ コンテンツ関連 事業	コンシューマ・ コンテンツ関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,576,808	2,872,637	4,449,446	10,985	4,460,431
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,576,808	2,872,637	4,449,446	10,985	4,460,431
セグメント利益	325,058	450,435	775,494	1,625	777,119

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製・商品の開発・販売、著作権許諾等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,666,913
「その他」の区分の利益	9,165
全社費用(注)	△773,951
四半期連結損益計算書の営業利益	902,128

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	775,494
「その他」の区分の利益	1,625
全社費用(注)	△252,587
四半期連結損益計算書の営業利益	524,531

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。